

出願・受験について

Q 試験日が連続2日間ある入試制度の場合は、どちらの試験日を選択すればよいのでしょうか。

A あなたの都合に合わせてご自由にお選びください。また、2日間連日受験も可能です。その場合、入学検定料の割引があります。詳細はP.7を参照してください。

Q 試験日や試験地による難易度の違いや有利・不利はありますか。

A ありません。入試問題は、制度ごとに傾向や難易度がほぼ同じになるように作成されています。また、いずれの試験地でも同じ問題で試験を実施しますので、試験地による有利・不利はありません。

Q 出願後に受験学部・学科、試験地を変更できますか。

A 出願完了後の受験学部・学科、試験地の変更は認めません。ただし、入学検定料の支払い前かつ出願期間内であれば、新規の出願登録による変更が可能です。

Q 出願の際、調査書、活動報告書は何枚必要ですか。

A 志願票1枚につき、それぞれ1枚ずつ必要です(本人控え用除く)。学部併願や連日受験、一般と共通テスト利用の同時出願の場合は、調査書等は1枚ずつで構いません。また、一般・共通テスト利用において2回目以降の出願につきましては、調査書等の提出は不要です(志願票は提出が必要です)。ただし、記載内容に変更が生じた場合は再提出してください。
※「指定校」「ファミリー」「スポーツ・文化活動」「オープンキャンパス参加」「奨学金チャレンジ」「活動評価」「英語1教科」「社会人」「編入学」「外国人留学生一般」は活動報告書の提出は不要です。

Q 活動報告書はどのようにして入手すればよいのでしょうか。

A 活動報告書は、大学公式ホームページの入試情報サイトからダウンロードが可能です。詳しくは各入試制度の入学者選抜要項をご確認ください。

Q 出願状況を知りたいとき、情報を得る方法はありますか。

A 大学公式ホームページの入試情報サイト内の「志願者情報」で随時お知らせします(10月中旬頃～)。

Q 不合格となった学部へ再チャレンジできますか。

A 公募推薦「小論文・面接」および外国人留学生一般では、同じ入試制度で不合格となった学部・学科への再出願はできません(経営学部は学科を変えても不可)。総合型選抜の全制度においては、書類審査で不通過または不合格となった学部・学科への再エントリーはできません(経営学部は学科を変えても不可)。ただし、総合型選抜で不合格となった学部・学科でも、公募推薦「小論文・面接」へは1度に限り出願可能です。公募推薦「スタンダード」、一般、共通テストへの出願は何度でも可能です。

合否結果発表について

Q 合否結果発表はどのように行われますか。

A 受験者本人宛に速達郵送にて通知します。また、併願制の入試制度については、合格者の受験番号を大学公式ホームページの入試情報サイトに掲載する予定です。専願の入試制度については、郵便での合否通知のみとなります。また、電話による問い合わせには応じていません。詳しくは各入試制度の入学者選抜要項をご確認ください。

Q 経営学部の「当該学部の他学科に合格と判定することもある」とはどういうことですか。

A 経営学部には「経営学科」と「ホスピタリティ経営学科」があるため、いずれかの学科に出願した際、その学科では不合格でも、もう一方の学科では合格になる場合があるということです。

Q 追加合格はありますか。

A 一般および共通テスト利用のみ追加合格者を発表する場合があります。出願時に登録された電話へ連絡を入れ、その後、必要書類を送付します。

入学手続きについて

Q 入学手続きについて教えてください。

A 入学手続きは2段階に分かれています。
(注)「一般中期1日目・2日目、後期、総合評価」「共通テスト利用A日程・B日程」「社会人B日程」「編入学B日程」「外国人留学生一般B日程」については一括納付となっています。
 ①1次締切では「入学金」を納付します。
 ②2次締切では「学費」および「諸会費」を納付したうえで、入学手続書類を本学宛に送付します。
 ※入学手続書類の提出が確認できた段階で手続きが完了となります。詳細は合格通知書に同封して送付します。
 ※各入学手続き期限までに入金の確認ができない場合は、入学の意思が無いものとして扱います。

Q 入学辞退について教えてください。

A 2024年度の入学手続きを完了した後に入学を辞退する場合は、2024年3月30日(土)17時までに本学所定の「入学辞退届」を提出していただく必要があります(期日必着)。希望される場合は、お電話またはメールにてご請求ください。期限までに「入学辞退届」を提出した場合に限り、入学金を除く学費および諸会費を返還します。なお、返金手続きは毎月月末に締め切り、翌月25日(銀行休業日の場合はその前営業日)に、本人の指定した銀行口座に、入学金を除く学費および諸会費を振り込みます。ただし、「指定校」「ファミリー」「スポーツ・文化活動」の合格者に対しては、専願制のため入学辞退を認めません。各入試制度の趣旨をよく理解したうえでお願いしてください(一旦納付された「入学金」「学費」「諸会費」および「入学手続書類」は返還しません)。

公募推薦について

Q 「スタンダード」は、解答する教科を出願時に登録する必要があるのでしょうか。

A ありません。試験当日に試験問題を見てから解答する問題を選択していただけます。

Q 「スタンダード」の問題は、学部によって異なるのでしょうか。

A 「スタンダード」の問題は全学部共通です。そのため、大学の場合は同一日に最大7学部まで出願可能です。ただし、大学と短大の併願はできません。

Q 学部併願をする場合、志望順位を付ける必要がありますか。

A ありません。学部ごとに合格基準点を設け、判定します。基準点を超えた学部が合格となりますので、その中から希望する学部を選び、入学手続きを行ってください。

Q 「高得点重視」とはどのような判定方法なのでしょうか。

A 「スタンダード」で解答した4題のうち、高得点の2題を2倍した得点と他2題の得点合計で判定する方法です。得意科目の得点を生かすことができるので、合格のチャンスが広がります。

一般について

Q 解答する教科を出願時に登録する必要があるのでしょうか。

A ありません。試験当日に試験問題を見てから解答する問題を選択していただけます。

Q 問題は、学部によって異なるのでしょうか。

A 問題は全学部共通です。そのため、大学の場合は同一日に最大7学部まで出願可能です(「英語1教科」「総合評価」除く)。ただし、大学と短大の併願はできません。

Q 学部併願をする場合、志望順位を付ける必要がありますか。

A ありません。学部ごとに合格基準点を設け、判定します。基準点を超えた学部が合格となりますので、その中から希望する学部を選び、入学手続きを行ってください。

Q 「高得点2教科」とはどのような判定方法なのでしょうか。

A 「3教科」で解答した各教科のうち、高得点の2教科の得点合計で判定する方法です。得意科目の得点のみ採用されるので、合格のチャンスが広がります。

総合型選抜について

Q 書類審査が不通過・判定不合格の場合は、再エントリーすることは可能ですか。

A 書類審査が不通過または試験で不合格となった学部への再エントリーはできません(総合型選抜内で入試制度を変えても不可)。他の学部であれば、新たなエントリーが可能です。